

歯科専門体験実習

責任者・コーディネーター	口腔保健育成学講座（歯科矯正学分野）桑島 幸紀 准教授				
担当講座（分野）	口腔保健育成学講座（歯科矯正学分野）等				
対象学年	2	区分・時間数	講義/演習	実習	
期間	通期		前期	4.0時間	8.0時間
			後期	—	20.0時間

学修方針（講義概要等）

本実習は多職種連携教育（Interprofessional Education：IPE）の一環として、1年次に修得したアカデミックリテラシーおよび問題解決型学修の知識を基盤に、歯科医療における多職種連携の実際を体験的に理解することを目的とする。現場見学やグループ討議、振り返り学修を通して理解を深化させ、将来の臨床実習および臨床研修に必要なチーム医療の基盤を形成する。さらに、多職種連携における歯科医師の役割を理解し説明できること、ならびに他職種を尊重した専門職としての適切な態度を身につけることを目指す。

教育成果（アウトカム）

本学附属病院歯科医療センターおよび開業歯科医院での体験を通して、歯科医療の基本的な知識・技能・態度を身につけ、歯科医療の概要を説明できる。さらに、チーム医療における歯科医師の役割と適切な専門職態度を理解し説明できるとともに、他職種との協働の重要性を認識し、実習体験を振り返りながら自身の役割について考察できる。

（関連するディプロマポリシー：1～6）

到達目標（SBOs）

1. 歯科専門体験実習の目的を説明できる。
2. 歯科専門体験実習に必要な身だしなみを説明できる。
3. 患者に接するときの心構えを説明できる。
4. 良医の条件を説明できる。
5. インフォームドコンセントの定義と重要性を説明できる。
6. 医療情報の収集法を説明できる。
7. 医療面接の目的と方法を説明できる。
8. 主訴、現病歴、既往歴等の定義を説明できる。
9. 医療人として適切な身だしなみ・態度を実践できる。
10. 担当歯科医師・スタッフ・患者に対して、適切な挨拶および自己紹介ができる。
11. 担当歯科医師・スタッフの指導のもとで、患者に丁寧な応対ができる。
12. 歯科診療の基本的な流れ（診療前・診療中・診療後）を理解し、患者への配慮の重要性を説明できる。
13. 実習体験を振り返り、自身の学びと今後の課題を言語化できる。

事前事後学修の具体的内容及び時間

シラバスに記載されている実習内容を確認し、本実習の意義について熟考してから実習に臨むこと。歯科医療におけるチーム医療、多職種連携についてあらかじめ調べることが必要である。各実習に対する事前事後学修の時間は平均75分を要する。

事前学修：シラバスに記載されている内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は平均30分を要する。

事後学修：講義で理解が不十分であった箇所については、講義資料や教科書等を用いて事後学修を行うこと。各授業に対する事後学修の時間は平均45分を要する。

（事前学修：平均30分を要する 事後学修：平均45分を要する）

講義/演習日程表

区分	月日 (曜)	時限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
講義	7/17 (金)	3	桑島幸紀准教授 口腔保健育成学講座 (歯科矯正学分野)	歯科疾患と治療法 歯科専門体験実習事前 オリエンテーション 口腔・顎顔面領域の診察、検査、診断および予防を行うために必要な基本的な知識、態度を身につける。 (矢巾キャンパス東2-D講義室)	1. 歯科専門体験実習の目的を説明できる。 2. 歯科専門体験実習に必要な身だしなみを説明、実施できる。 3. 患者に接するときの心構えを説明する。 4. 良医の条件を説明する。 5. インフォームドコンセントの定義と重要性を説明する。 6. 医療情報の収集法を説明する。 7. 医療面接の目的と方法を説明する。 8. 主訴、現病歴、既往歴等の定義を説明する。 [PR-01~06、GE-01 ~05、CS-01、CS-07、CM-01 ~05、IP-01 ~04、E-6-1-1、E-6-1-2] 事前学修：講義資料を読んで疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：講義で理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	8/25 (金)	2	桑島幸紀准教授 口腔保健育成学講座 (歯科矯正学分野)	歯科専門体験について 歯科専門体験実習の目的、実施要項を理解する。 (矢巾キャンパス東2-D講義室)	1. 歯科専門体験実習の目的を説明できる。 2. 歯科専門体験実習に必要な身だしなみを説明、実施できる。 3. 歯科専門体験実習のスケジュールを説明できる。 [PR-01~06、GE-01 ~05、CS-01、CS-07、CM-01 ~05、IP-01 ~04、E-6-1-1、E-6-1-2] 事前学習：実習を行う施設等について事前に示すので、これについて調べておくこと。

実習日程表

実習	7/24 (金)	1 2 3 4	歯学部臨床系全講座 (分野)	歯科専門体験事前実習 (内丸 歯科医療センター)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療人として適切な身だしなみ・態度を実践できる。 2. 担当歯科医師・スタッフ・患者に対して、適切な挨拶および自己紹介ができる。 3. 担当歯科医師・スタッフの指導のもとで、患者に丁寧な応対ができる。 4. 歯科診療の基本的な流れ（診療前・診療中・診療後）を理解し、患者への配慮の重要性を説明できる。 5. 実習体験を振り返り、自身の学びと今後の課題を言語化できる。 <p>[PR-01～06、GE-01～05、CS-01、CS-07、CM-01～05、IP-01～04、E-6-1-1、E-6-1-2]</p> <p>事前学習：各自が実習を行う臨床科目について大学HPにてその内容を理解しておくこと。</p>
実習	9/9 (水) ～ 9/17 (木)		開業歯科医院	歯科専門体験実習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療人として適切な身だしなみ・態度を実践できる。 2. 担当歯科医師・スタッフ・患者に対して、適切な挨拶および自己紹介ができる。 3. 担当歯科医師・スタッフの指導のもとで、患者に丁寧な応対ができる。 4. 歯科診療の基本的な流れ（診療前・診療中・診療後）を理解し、患者への配慮の重要性を説明できる。 5. 実習体験を振り返り、自身の学びと今後の課題を言語化できる。 <p>[PR-01～06、GE-01～05、CS-01、CS-07、CM-01～05、IP-01～04、E-6-1-1、E-6-1-2]</p> <p>事前学習：各自が実習を行う歯科医院にてその内容を理解しておくこと。</p>
実習	9/18 (金)	1 2	桑島幸紀准教授 口腔保健育成学講座 (歯科矯正学分野)	歯科専門体験実習発表会 (矢巾 大堀講堂)	

教科書・参考書・推薦図書…予め指定する図書はありません。

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年

成績評価方法・基準・配点割合等

実習評価（講義、オリエンテーション及び各施設の担当指導者からの評価、発表会、）およびレポートで評価する。（講義評価10%、実習評価50%、レポート25%、発表会15%）

到達目標	DP	講義	各施設の担当指導者からの評価	発表会	レポート	合計
1~8	4	10				10
9~12	4		50		25	75
13	1、4			15		15
合計		10	50	15	25	100

特記事項・その他（試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用等）

本実習では、本学附属病院歯科医療センターおよび開業歯科医院での体験を通して知識、技能、態度を学ぶ。最終日に開催する発表会で、各自がプレゼンテーションを行い、伝える力の強化を図るとともに、研修先の歯科医師、教員、スタッフとのディスカッション、コミュニケーションの機会を設ける。各自の実習目標、事後報告書はポートフォリオとしてWebClassに提出する。ポートフォリオの内容から考察が不十分である場合は個別に追加指導を行う。

当該科目に関連する実務教員の有無 … 有（大学病院等における医師や歯科医師の実務経験を有する教員が専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う）

授業に使用する機械・器具と使用目的…特記すべき機械・器具等はありません。

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的